

# 「21世紀にふさわしい公園づくり委員会」

## 第4回 委員会資料

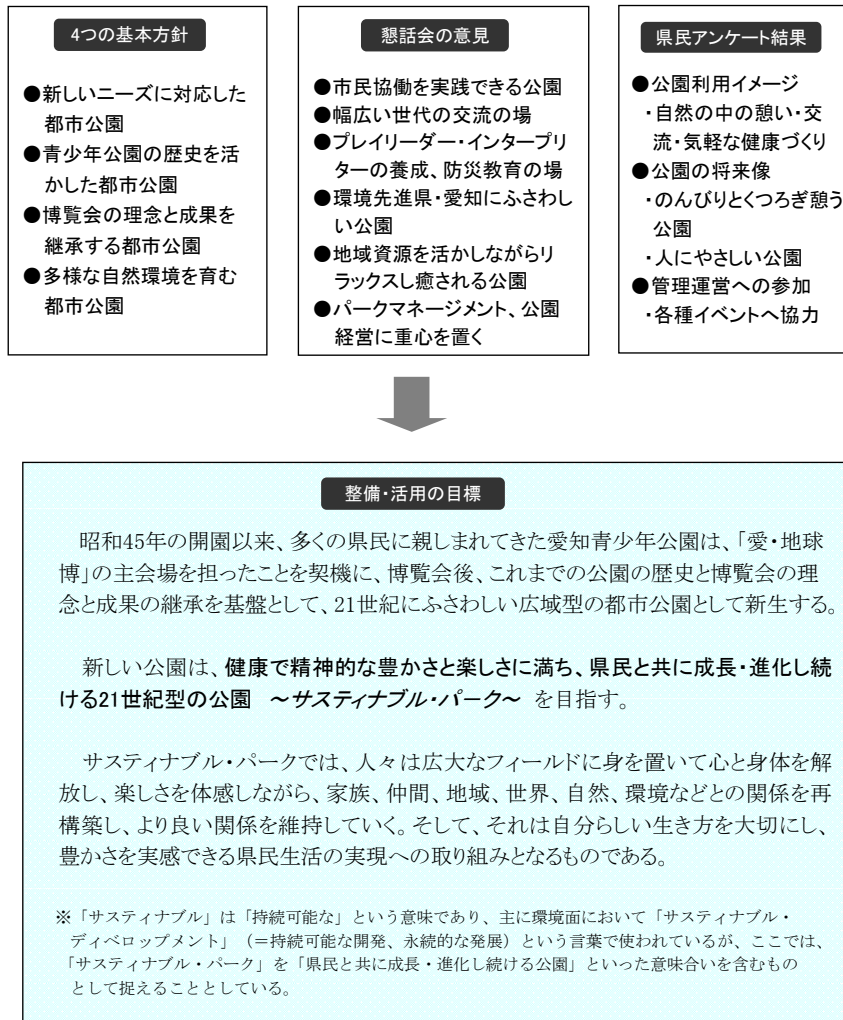
### 1. 基本計画

1-1 整備・活用の方針	-----	1
1-2 県民と行政のパートナーシップによる公園整備と管理運営	-----	2
1-3 整備内容	-----	6

# 1. 基本計画 <1-1 整備・活用の方針>

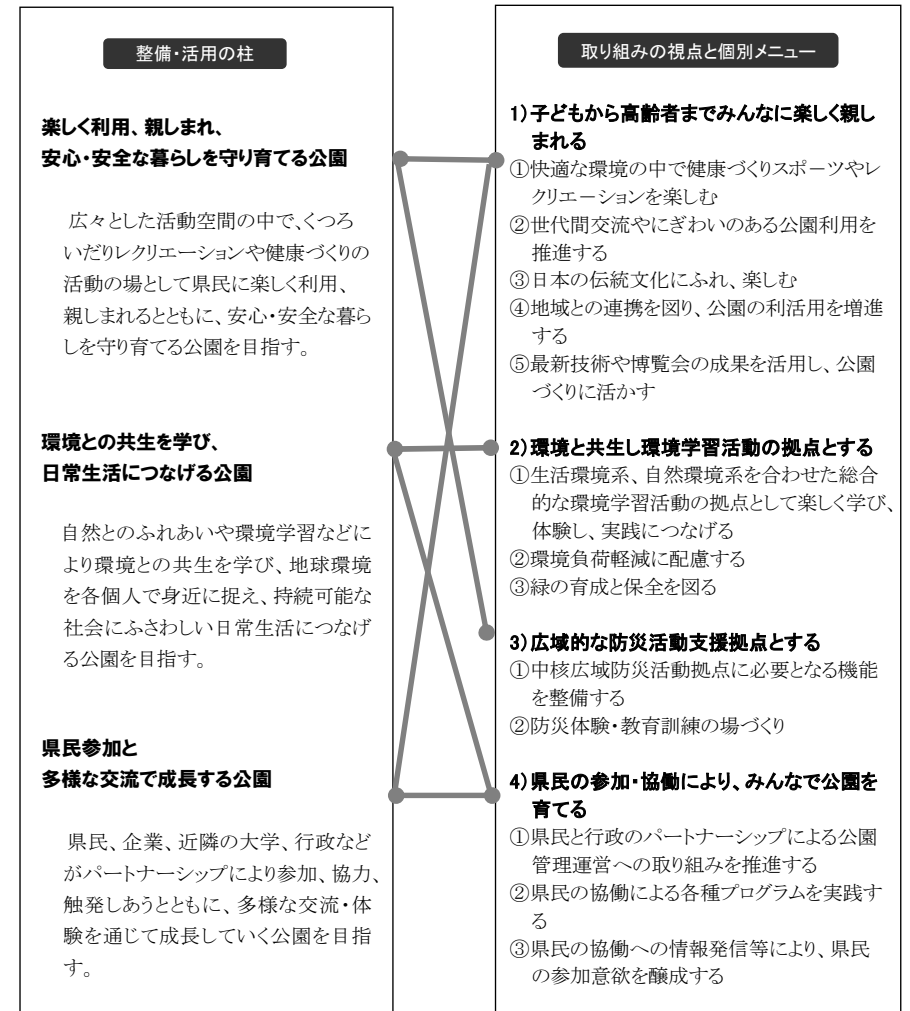
## 1) 整備・活用の目標

愛知青少年公園計画の骨格となる「整備・活用の方針(案)」は、計画策定に先立って開催された「21世紀にふさわしい公園を考える懇話会」、および「県民意見聴取(アンケート調査)」の内容を踏まえて検討を進め、以下のように目標を設定した。



## 2) 整備・活用の柱と取り組みの視点

整備・活用の目標を実現していくための指針となる「整備・活用の柱」、および、その具現化を図るための「取り組みの視点と個別メニュー」を、以下のとおりとした。



[基本方針]

県民と行政とのパートナーシップによる公園整備と管理運営の方針は下記のとおりとする。

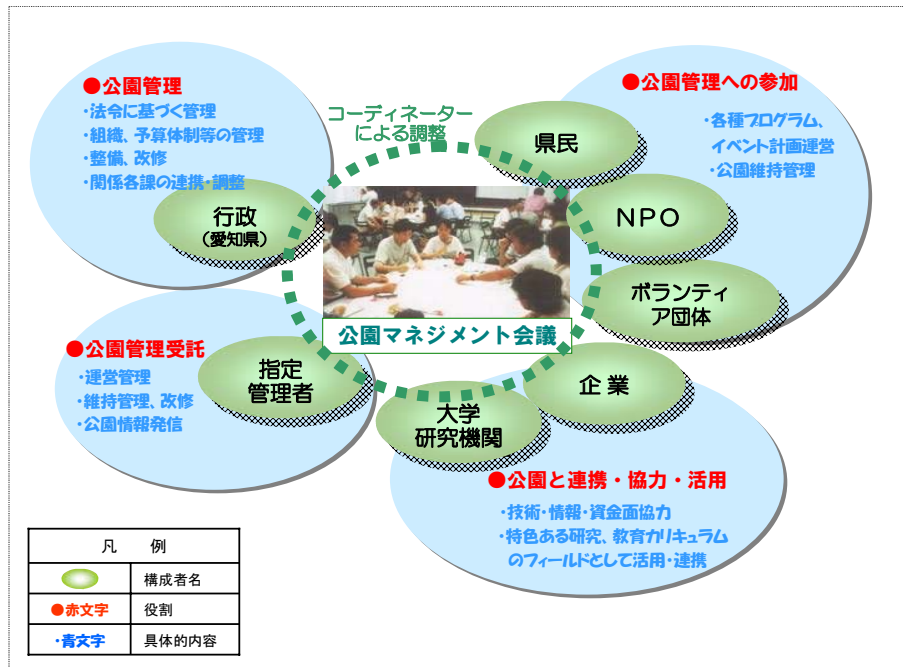
①様々な段階での県民参加の推進

- ・本公園では、博覧会の大きな成果である「市民参加・市民協働」を継承し、公園の計画・設計・整備・管理・運営等の様々な段階において県民参加を推進し、利用者みんなで公園を育てていく。

②公園マネジメント会議の設置

- ・本公園に地域の人々や企業、NPO、大学等が効果的に関わられるよう、各々の役割を考慮し、県民が互いに関係しながらみんなで公園を育てていく管理運営を進めていくため、県民と行政のパートナーシップにより構成された「公園マネジメント会議」を設置する。ここでは公園管理の基本となる管理内容の他、役割分担、市民参加プログラムの検討を行う。

■公園マネジメント会議の構成者とその役割



③ボランティア活動の推進

- ・公園管理運営について、県民がボランティアとして参加できるシステムを構築する。ボランティアを、公募・養成し、ボランティア活動が実践されていく中で、活動者自身の発案によるイベントやプログラムの企画運営など、公園管理に自主的に関わっていくことができるようにする。
- ・ボランティアの養成については、特に、地域活動への関心が高く、豊かな社会経験を持つシルバー世代を対象としたボランティア養成を実施し、園内フィールドを、世代間交流の場、自分の特技を生かす活動の場、生きがいづくりの場として提供する。

④県民が主体的となる管理運営への段階的な発展

- ・管理運営に関する県民と行政とのパートナーシップは、短期間で構築できるものではなく、継続的な活動実践のもとに徐々に進めていく。そして将来的には、行政主体による管理運営から、県民と行政とのパートナーシップによる管理運営へ発展させる。
- ・段階ごとの取り組み内容は以下のとおりである。

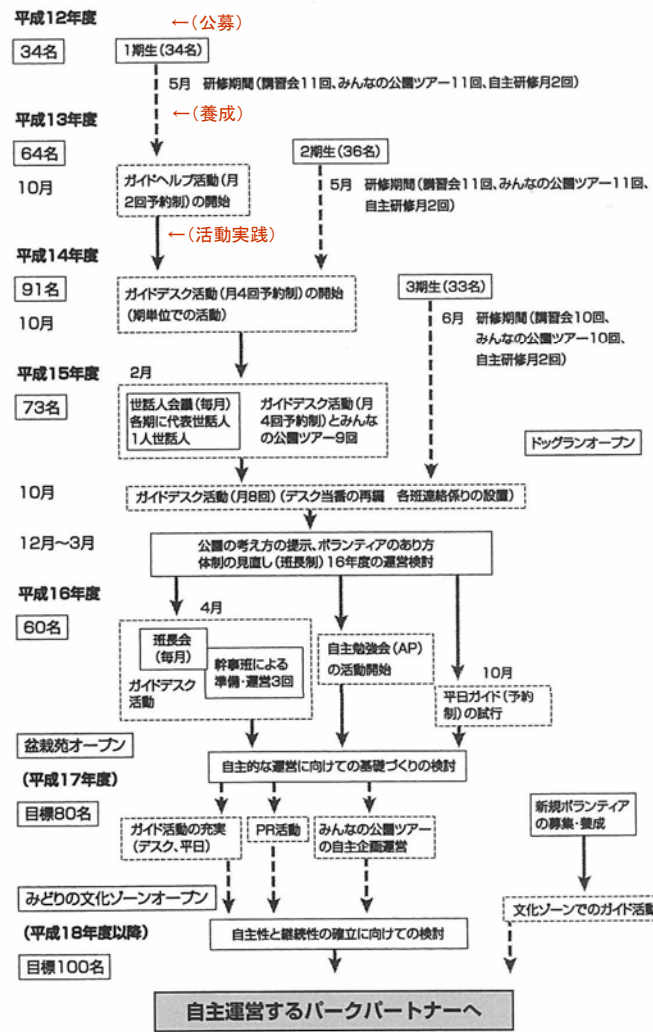
■公園への県民参加のステップ

	<目標>	<運営主体>	<取り組み内容>
基盤づくり期	・公園での活動を体験し、継続的に参加してもらおう (5年間程度)	公園管理者(愛知県) 指定管理者 NPO等 公園マネジメント会議	・ワークショップ型公園づくり空間の整備による計画段階からの県民参加 ・ボランティアの公募・養成・組織作り ・県民参加の推進を目的とする講演会の実施 ・NPO、大学、企業、専門家など公園管理運営に関わってもらおう諸団体の参加・協力要請 ・運営プログラム等での活動実践
		↓ 発展	
将来期	・行政と県民とのパートナーシップによる公園管理運営 (6年目以降)	公園管理者(愛知県) 指定管理者、大学 研究機関、企業、NPO 県民、ボランティア団体 公園マネジメント会議	・県民の自主的な管理運営プログラムによる活動実践、情報発信 ・新規ボランティア等の継続的な募集・育成

[参考資料]

■参考1: ボランティアの組織化事例

国営昭和記念公園におけるガイドボランティアの活動事例を以下に示す。公募・養成・活動実践を続けていく中で、自主的な運営組織へ発展していくことが期待されている。



※出典 公園管理ガイドブック(公園緑地管理財団)

■参考2: 公園ボランティアの活動テーマ例

- 公園ボランティアの活動テーマとしては以下のようなものがある。
  - 里山や雑木林、水辺やビオトープの管理
  - 花壇や花畑、生き物の世話
  - トンボなど特定動植物の保全
  - 古民家、洋館等の建築物の管理
  - 農業体験、農地保全
  - 子どもの遊び、伝承遊びの支援
  - 環境学習、野外活動
  - 公園や動植物のガイド
  - 障害者や高齢者の支援
  - 身近な公園の管理運営

※出典 公園管理ガイドブック(公園緑地管理財団)

■参考3: 公園における管理運営項目

一般に公園の管理運営は、維持管理・運営管理に大別され、各々以下の項目がある。各項目で、ボランティアやNPO等との参加・協力を進めながら管理運営を行う。

○維持管理

- 公園を構成している施設の物的条件を整えて利用に供するとともに、施設の保全を図る
  - 植物管理(樹木、芝生、樹林、草花)
  - 施設管理(建築物、工作物、設備)
  - 清掃

○運営管理

- 利用者との対応をととして、快適で円滑な公園利用を提供するための仕組みや体制などの条件を整えとと共に、利用指導などにより間接的に施設の保全を図る
  - 利用に係る情報の収集・整理
  - 利用に係る情報の提供
  - 利用機会の提供(各種イベント・プログラム運営)
  - 利用の支援及び指導(施設利用に伴う用具貸し出し等便宜の提供、自主的活動支援)
  - 利用の調整
  - 特定の公園施設管理(運動施設、キャンプ場、バーベキュー場など)

※出典 公園管理ガイドブック(公園緑地管理財団)

■参考4: 青少年公園パブリックコメントの意見(管理運営に関わる項目)

パブリックコメント(平成17年7月13日~8月12日実施)における管理運営に関わる意見概要は以下のとおりである。

- 回答者数 : 全269人の中69人(26%)
- 主な意見 : 維持管理を安く(13)
  - 民間やNPO、ボランティアの運営・管理への参加(10)
  - 魅力あるイベントの企画(8)
  - 有料施設における入場料などを安く(4)
  - ( )は件数

【各ゾーンのソフト展開】

各ゾーンにおいて、整備・活用目標の実現への取り組みにつながる運営プログラム例を検討した。そして、それら運営プログラムの運営に必要な機能や規模を備えた施設整備を図るものとする。各プログラムの企画、運営は、基盤づくり期においては行政や専門家のアドバイスが必要であるが、将来期にはNPOやボランティア団体等の県民主体型の取り組みにより進めていくものとする。

■こどものひろば ～子どもの遊び・体験・レクリエーション～

【整備施設】

- 県民公園づくり空間 ★★★★★
  - ・子どもたちがものがものをつくる体験を通して、創造性を高めるワークショップ空間
- 【運営プログラム】
  - 遊びの王国づくり、物語ひろばづくり、郷土の玩具づくり



●乗り物体験広場 ★

- ・ワクワク感、爽快感などを体験できる乗り物遊戯空間
- 【運営プログラム】
  - 未来型乗り物・面白乗り物の乗車体験（省エネカー、ソーラーカー等）



【博覧会前整備施設】

- 自然体感遊具 ★★★★★
  - ・自然の力や仕組みを体験する遊戯施設で楽しく遊びながら自然を理解する空間
  - 【運営プログラム】
    - ツリークライミング、グローイングビレッジ

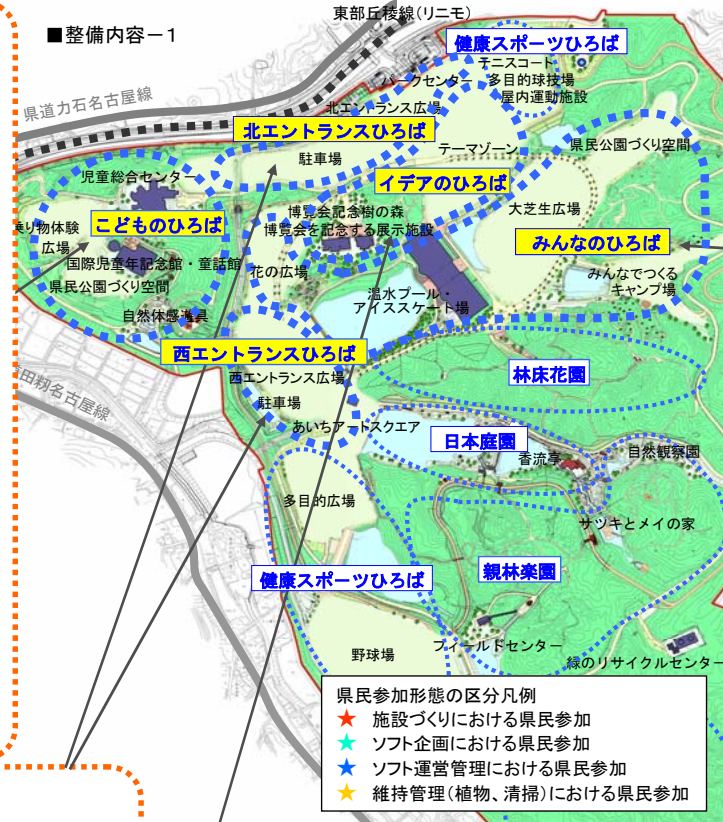


【既存施設】

- 児童総合センター ★
  - ・児童の健全育成と子育て環境づくりの推進
  - 【運営プログラム】
    - 見る・触れる・感じる・考える・身体を動かす等、全身の感覚をフルに発揮させる新鮮な遊びのプログラムや育児支援プログラム
- 国際児童年記念館・童話館 ★
  - ・児童の健全育成の推進
  - 【運営プログラム】
    - 子どもホールを活用した子ども発表会



■整備内容-1



■エントランス(北・西) ～公園の顔となる空間～

【整備施設】

- 北エントランス広場 ★
  - ・カ石名古屋線、リニモ駅から安全快適に利用できる入口、広々とした公園の高台にあり、開放性の感じられるひろばの明るいイメージを演出
- 公園管理の中心的役割を担う施設(パークセンター):北エントランス ★★★★★
  - ・公園管理運営、県民参加活動拠点、休憩、飲食、インフォメーション、屋内運動、防災時対応(アイデアのひろばの具体化に伴い、必要があれば見直しを行う)
- 西エントランス広場 ★
  - ・田羽名古屋線からのアクセスに対応した入口、もりのゾーンに近接した入口として池や森を背景とした落ち着いたイメージや入口としての象徴性を演出、公園のシンボルとなるモニュメントの設置
- あいちアートのスクエア:西エントランス ★★★★★
  - ・彫刻等を配し、瓦などの県産材を舗装等に活用した広場、施設づくりから県民も参加
- 駐車場 ★
  - ・公園北口の混雑緩和を図ることと公園利用者の利便性を考慮し、北・西の両エントランスに配置

■アイデアのひろば ～博覧会の理念と成果を引き継いだ展開～

・博覧会テーマを引き継ぎ、それらの成果をさらに発展させる展開の場

【整備施設】 ※県民参加形態についても今後検討する

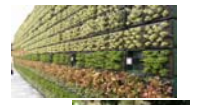
- 博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン(テーマゾーン)
- 博覧会を記念する展示施設
  - ・博覧会参加国から贈呈された記念品の展示
  - ・迎賓館、レセプションホールを活用
- 博覧会記念樹の森
  - ・博覧会参加国による植樹セレモニーの記念樹を移植



■みんなのひろば ～水と緑の中での多様な交流～

【整備施設】

- 大芝生広場 ★★★★★
  - ・大勢の人が参加・交流できる多様なイベントに対応する広く開放的な空間
  - ・健康づくりイベント、万博記念イベント、野外コンサート、防災の日イベント等いろいろな県民参加イベント・プログラムの主会場とする
  - ・博覧会時の愛・地球広場の人工芝及びステージを活用
  - 【運営プログラム】
    - 各種県民参加交流にかかわるプログラム
- 花の広場 ★★★★★
  - ・花や緑のまちづくり推進に役立つ緑化技術の提案や花を生活に取り入れるライフスタイルの提案
  - ・花・緑の育成管理技術の研修・講習会の開催の場として展開
  - ・花木や草花により、四季の景を楽しむデザイン花壇やバイオラングの技術を活用した垂直花壇
  - ・季節の花祭りイベント、フラワーカフェ
  - 【運営プログラム】
    - 県民花づくり、企業の最新技術紹介、花遊びの伝統花壇コンテスト、花壇や花畑の世話
- みんなでつくるキャンプ場 ★★★★★
  - ・県民参加型による施設計画
  - ・デイキャンプ等の気軽な日帰り型アウトドアレクリエーション施設、学校行事や団体行事で一同に集まってみんなで料理をつくるアウトドアッキング空間
  - ・県民参加による料理の相談・指導等
  - 【運営プログラム】
    - キャンプリーターによるッキング教室、季節の地元食材を紹介・試食する青空レストラン



- 県民公園づくり空間 ★★★★★
  - ・持続可能な社会づくり、「サステイナブル」に関わるテーマに基づいた県民協働による公園づくりの場、県民公募型ワークショップにより、つくる過程を大切にしながら少しずつ整備を進める
  - 【運営プログラム】
    - サステイナブルをテーマとしたビレッジ(資源循環、自然エネルギー活用の体験村)づくり



- ～間伐材を使つての公園施設ベンチ、案内板、炭づくり、野鳥の家づくり、落ち葉を使つての堆肥づくり、森の遊び場づくり、昆虫のすみか穴掘り、風車づくりによるエネルギー体験など～
- 【既存施設】
- 温水プール ★★
  - ・25m・流水・造波・ちびっこ・冒険プール、スライダー、ジャグジープールでの楽しい健康づくり空間、スイミング講習会の実施
- アイススケート場 ★★
  - ・周長200mの外周リンク、内リンクを活用したスケートによる健康づくり、スケート初心者向け教室、スケート練習の実施



※薄緑色の文字の運営プログラムは、博覧会継承プログラム例

■整備内容-2

■健康スポーツひろば ～健康づくりスポーツを家族や仲間と楽しむ～

【整備施設】

- 各種健康づくりスポーツの場(兼用利用する多目的施設として計画) ★★
- ・各種スポーツイベント・プログラムの開催、家族や仲間との健康づくりスポーツ利用の他、学校や企業、NPOにスポーツ等の場として活用してもらう

多目的広場(運動会、ジョギング、マラソン等)、  
多目的球技場(サッカー、ホッケー、ラグビー、ラクロス等)、  
野球場(軟式野球、ソフトボール)、  
テニスコート、屋内運動施設(パークセンター内)、  
サイクリングコース

【運営プログラム】

健康づくりプログラム、  
マラソン・ジョギング大会等  
各種スポーツ大会



県民参加形態の区分凡例

- ★ 施設づくりにおける県民参加
- ★ ソフト企画における県民参加
- ★ ソフト運営管理における県民参加
- ★ 維持管理(植物、清掃)における県民参加



■林床花園 ～四季折々の樹林風景を楽しむ～

【整備施設】【博覧会前整備施設】

- 樹林地 ★★
- ・間伐等の手入れにより多様な花木や草花の自生を促すことができる森づくり
- ユニバーサル園路 ★★
- ・誰もが樹林地の自然に親しめる園路

【運営プログラム】

環境学習プログラム、  
インタープリターガイドツアー、  
樹林管理プログラム



■日本庭園 ～伝統文化とのふれあい～

【博覧会前整備施設】

- 日本庭園 ★★
- ・水や緑に恵まれた環境の中で日本の伝統文化と触れあう庭園
- ・エリアを限定し有料化
- 茶室(香流亭) ★★
- ・お茶会をはじめとする各種伝統文化関連プログラムへの一般貸し出しや呈茶サービスの実施

【運営プログラム】

県民参加の伝統文化継承プログラム、  
茶会・能・月見会など日本独自の文化や季節行事開催、  
あかりアート



■親林楽園 ～環境学習・野外活動～

【整備施設】

- 樹林地 ★★
- ・樹林地の多様な自然を育む森づくり
- ユニバーサル園路 ★★
- ・誰もが樹林地の自然に親しめる園路
- 自然観察園 ★★
- ・水辺の植物、生物の観察空間
- ・水路等の自然回復

【運営プログラム】

環境学習プログラム、樹林管理プログラム

- 緑のリサイクルセンター ★
- ・刈草・剪定枝をチップ化及び堆肥化、園内リサイクルを实践、普及
- 【運営プログラム】見学ツアー、堆肥配布会

【博覧会前整備施設】

- フィールドセンター ★★
- ・環境学習の活動拠点
- 【運営プログラム】  
環境学習プログラム、インタープリターガイドツアー、インタープリター養成
- サツキとメイの家
- ・博覧会人気施設の期限付き存置活用



■南部樹林地 ～緑地保全～

【整備施設】 ★★

- ・整備・活用は管理用園路など最小限にとどめ、希少種の保全を図る
- ・自然環境保全の研究の場として活用

【運営プログラム】

フィールドセンターを中心とした環境学習プログラムを通しての活用



<1-3 整備内容>

[ゾーニング]

公園のゾーニング(空間構成)は、以下の図に示すとおりである。中間報告時に提示したゾーニングに対し、博覧会の理念と成果の継承の場、これからの公園のあり方を象徴する空間として設定した「アイデアのひろば」について、北エントランスとの一体性を含めてエリアの明確化を行った。また、日本庭園の東側に位置する樹林・水辺一帯は、自然学習・体験型の利用が主となるという観点から「親林楽園」として取り込むこととした。

各エリアの性格と主な利用イメージを、右表に整理した。

■ゾーニング図



緑や水にふれながら心と身体を解放して、家族や仲間と遊び楽しむゾーン

- 家族や仲間と楽しむレクリエーション、健康づくりスポーツ活動空間の整備
- 水と緑を活かした多様な交流空間の整備
- 博覧会の成果を継承していく機能の導入
- 防災拠点としての機能向上

樹林や池など豊かな緑の中に身を置いて、自然とふれあい、憩い、学ぶゾーン

- 樹林地内での野外活動や四季折々の自然とふれあい、自然環境への理解を深める空間の整備
- 伝統と文化を学び、ふれあう日本庭園の整備
- もりのゾーンに生息する多様な生物や自然環境を保全・育成

■各エリアの性格と利用イメージ

名称	エリアの性格	利用イメージ
みんなのひろば	水と緑の中での多様な交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>池や水路などの水辺空間や背後にある樹林地を取り込んだ魅力的な交流空間</li> <li>芝生広場のような多目的利用が可能な開放的な空間で、子どもから老人までの幅広い公園利用者が、多様な交流を賑やかに展開</li> <li>各種イベント・プログラムの展開、県民協働による公園づくりプログラムの実施</li> <li>野外活動、資源循環・自然エネルギー等についての体験学習、ディキャンプ利用</li> <li>非常時における防災支援活動拠点として利用</li> </ul>
	子どもの遊び・体験・レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの遊び・体験・レクリエーションの場として利活用</li> <li>愛知県児童総合センター、愛知国際児童館との連携</li> <li>自然エネルギーを活用した遊具や施設、利用プログラムの導入</li> <li>県民協働による子どもを中心とした公園づくりプログラムの実施</li> </ul>
	健康づくりスポーツを家族や仲間と楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑に囲まれた広い空間、環境を活かした県民の複合多目的な健康づくりスポーツの場(サッカー、野球など)として利用</li> <li>利用メニューは、旧公園の利用実態や周辺分布状況を考慮し決定</li> <li>非常時における防災支援活動拠点として利用</li> </ul>
	健康スポーツひろば	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の顔となる華やかな空間</li> <li>環境共生に配慮した空間</li> <li>公園全体案内や情報提供</li> <li>公園管理運営機能・休憩機能・飲食機能・防災支援機能の配置</li> <li>リモノ公園駅や駐車場からの安全で快適な利用</li> <li>公園の全景を見渡すことができる(北エントランス)</li> <li>パーク&amp;ライド(北エントランス)</li> <li>防災時の緊急車両駐車スペースとして利用</li> </ul>
北エントランスひろば	エントランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会の理念と成果の継承の場</li> <li>これからの公園のあり方を象徴する空間</li> <li>博覧会成果を継承、例えば資源循環などへの取り組みを関係機関や団体、企業、市民と協働で実践</li> <li>博覧会で培われた交流の場としての継続的活用</li> </ul>
アイデアのひろば	博覧会の理念と成果の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>博覧会の理念と成果の継承の場</li> <li>これからの公園のあり方を象徴する空間</li> <li>博覧会成果を継承、例えば資源循環などへの取り組みを関係機関や団体、企業、市民と協働で実践</li> <li>博覧会で培われた交流の場としての継続的活用</li> </ul>
林床花園	四季折々の樹林風景を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサル園路を利用して誰もが森に入って四季折々の風景を楽しむ</li> <li>環境学習の場として利用</li> </ul>
日本庭園	伝統文化とのふれあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化とのふれあい拠点として多面的に利活用</li> <li>鑑賞会、茶会、月見会、お花見会等、各種イベントを、関係団体や県民等とのパートナーシップによる開催を検討</li> </ul>
親林楽園	自然学習・野外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹林地内での活動を通じて身近な自然にふれあい、学習し、自然環境への理解を深める場として利用</li> <li>フィールドセンターを活動拠点として利用</li> <li>リサイクルセンターでは刈草・剪定枝をチップ化及び堆肥化し、園内リサイクルを実践</li> </ul>
南部樹林地	緑地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹林地保全のために整備を抑制するエリア</li> <li>観察会等の環境学習プログラムとの連携により、必要時に開放し、自然学習・教育活動を実施</li> <li>インタープリター活動と合わせての利用を検討、エコツアーの実施など</li> </ul>

<1-3 整備内容>

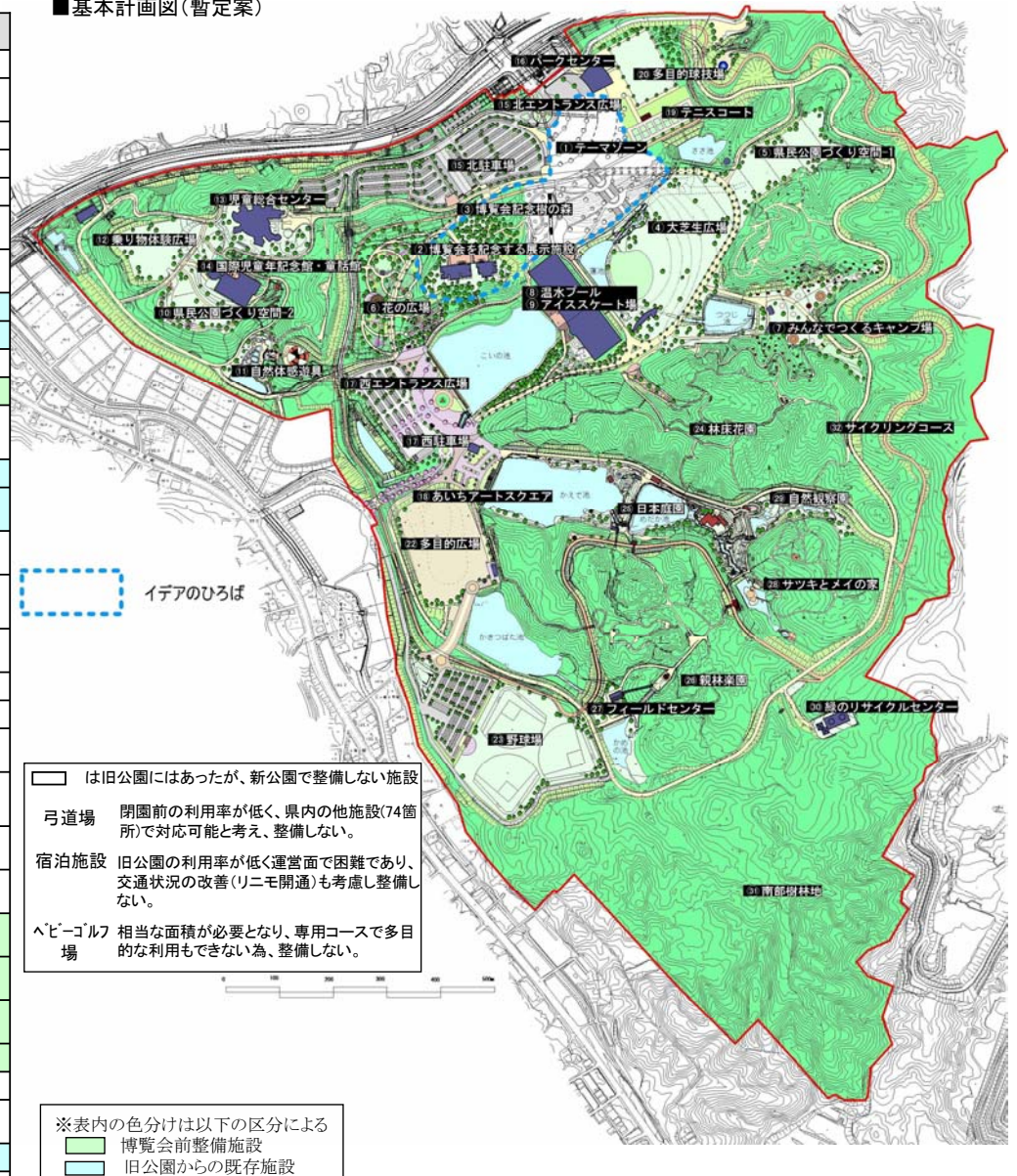
【施設計画】

これまでの検討内容を踏まえ、基本計画図・施設一覧(暫定案)として整理すると以下のようになる。なお、テーマゾーンについては、博覧会のテーマを引き継いだ展開としてさらに検討を進める予定であり、現段階では白表示としている。

■計画施設一覧

ゾーン	エリア	施設名	施設概要	旧公園における規模
アイデアのひろば		① テーマゾーン	博覧会の理念と成果を引き継いだテーマを展開するゾーン	-
		② 博覧会を記念する展示施設	博覧会開催記念品の展示 迎賓館、レセプションホールを活用	-
		③ 博覧会記念樹の森	博覧会を記念した記念樹を移植	-
みんなのひろば		④ 大芝生広場	広く開放的な芝生広場の交流空間: 5 ha	約5.5ha
		⑤ 県民公園づくり空間-1	県民参加の公園づくり空間: 1.5ha	冒険ひろば: 0.8ha
		⑥ 花の広場	花木や草花により、四季の景を楽しむ空間、花と緑にかかわる新技術提案の場: 2ha	-
		⑦ みんなでつくるキャンプ場	施設計画づくりを県民と行う、ディキャンプを主体としたアウトドア空間: 6ha	第1: 約3ha 第2: 約3ha
		⑧ 温水プール	(既設利用) 流水・造波・25m・ちびっこ・冒険の各プール、スライダー、ジャクジー等	-
		⑨ アイススケート場	(既設利用) 外周リンク周長200m・内リンク・スタンド	-
ひろばのゾーン こどものひろば		⑩ 県民公園づくり空間-2	子ども主体の県民参加の公園づくり空間: 2ha	ベビーゴルフ場18ホール
		⑪ 自然体感遊具	風・水・森の各エリアで自然を体感しながら遊ぶ空間: 1ha	ジャブジャブ池等
		⑫ 乗り物体験広場	ワクワク感、爽快感を体験できる乗り物遊戯空間: 1ha	ゴーカート場1周580m、ミニカー場、ちびっこサイクリング1周200m
		⑬ 児童総合センター	(既設利用) プレイアトリウム、各種プログラム等: 延床面積16900㎡	-
		⑭ 国際児童年記念館・童話館	(既設利用) こどもホール、童話館、ビデオ室等: 延床面積6230㎡	-
北エントランスひろば		⑮ 北エントランス広場北駐車場	(県道) 石石名古屋線、リニモ駅からのアクセスとなる公園の北入口 ・駐車場: 普通車1130台	普通車: 1518台
		⑯ パークセンター	公園管理運営、県民参加活動拠点、休憩、インフォメーション、屋内運動施設等	管理・会議室・講堂等 13000㎡、文化棟1500㎡、 弓道場9100㎡
西エントランスひろば		⑰ 西エントランス広場西駐車場	(県道) 田村名古屋線からのアクセスとなる公園の西入口 ・駐車場: 普通車385台	普通車: 680台
		⑱ あいちアートスクエア	彫刻等を配し、県産材を舗装等に活用した広場: 0.7ha	-
健康スポーツひろば(北)		⑲ テニスコート	8面	10面
		⑳ 多目的球技場	サッカー場1面、ラグビー場1面、ホッケー場1面: (兼用)	サッカー場1面、 ラグビー場1面: (兼用)
		㉑ 屋内運動施設	体育館第1: 1800㎡ 第2: 800㎡ (パークセンター内へ併設)	体育館第1: 1350㎡、第2: 750㎡、第3: 750㎡、 弓道場440㎡
健康スポーツひろば(南)		㉒ 多目的広場	400mトラック1面、サッカー場1面、ホッケー場1面、野球場1面、ソフトボール2面: (兼用)	400mトラック1面、 サッカー場1面: (兼用)
もりのゾーン		㉓ 野球場	野球場3面、ソフトボール3面: (兼用)、 駐車場345台	第1: 2面(軟式) 第2: 3面(少年)
		㉔ 林床花園	ユニバーサル園路を利用して、四季折々の樹林風景を楽しむ空間: 12ha	オリエンテーリングコース等
		㉕ 日本庭園	水や緑に恵まれた環境の中で日本の伝統文化と触れあう庭園: 14ha、茶室(香流亭)1棟	かえて池庭園
		㉖ 親林楽園	フィールドセンター(㉗)を拠点とした環境学習・体験空間: 17ha	オリエンテーリングコース等
		㉘ サツキとメイの家	博覧会人気施設の期限付きの存置活用	-
		㉙ 自然観察園	水辺の植物や生物の観察空間	-
		㉚ 緑のリサイクルセンター	刈草・剪定枝をチップ化及び堆肥化し、園内における緑のリサイクルを实践する施設	-
全域	⑳ 南部樹林地	保全を優先した樹林地	-	
全域	㉛ サイクリングコース	1周約5kmのサイクリングロード、一部既設利用	-	

■基本計画図(暫定案)



□ は旧公園にはあったが、新公園で整備しない施設

弓道場 閉園前の利用率が低く、県内の他施設(74箇所)で対応可能と考え、整備しない。

宿泊施設 旧公園の利用率が低く運営面で困難であり、交通状況の改善(リニモ開通)も考慮し整備しない。

ベビーゴルフ 相当な面積が必要となり、専用コースで多目的な利用もできない為、整備しない。

※表内の色分けは以下の区分による

■ 博覧会前整備施設

■ 旧公園からの既存施設